	氏名	山岸直子			部署	1	看護学科		職名				
	研究分野 慢性看護学		HP'E			日成丁17							
	学位 博士(看護学)												
	学歴 2007年聖路加看護大学大学院博士前期課程、2018年首都大学東京大学院博士後期課程												
	于歷												
経歴 2008年慶應義型大学有護医療 2017年埼玉県立大学保健医療					療学部助教、2013年東京医科大学医学部看護学科講師、 表短い学報准教授								
				短医療偏位子部准教授 本糖尿病教育・看護学会、日本慢性看護学会、日本がん看護学会、日本看護学教育学会、日本リ									
所属	<b>冨学会(役職)</b>							云、口	本がん有護子云、日本有護	子狄月子	云、日平り		
		ハビリテーション看記	支子云、	体健区	/ 原価性/	叶子子:	<u> </u>						
<b>.</b> .													
_	022年度実績】												
	研究業績												
( :	L)著作								·		発行等年月		
		著作の名称		単・共	ISBN	発	行所、全ページ数		著者、編者名	著者、編者名			
	該当なし												
(2	2) 論文												
		論文の名称		単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始	9-終了ページ	著者、編者名	著者、編者名			
	人生の最終段	階に向けた医療・ケア	の話し		あり		日本エンドオ	ブライ 山口乃生子, 會田みゆき <u>, ı</u>		山岸直子,			
1	合い経験の関	連要因一埼玉県A市に	おける	共著			フケア学会誌, 2023. (In pri		7(1), 畔上光代,河村ちひろ,星野純子, nt) 川泰宏,佐瀬恵理子,島田千穂		2023.3		
	横断的調査の	結果から一											
(3	3) 学会発表												
		学会発表の演題		単・共	学	会名、	開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月		
	観察場面での	看護学生の情報獲得と	思考過		第31回日本看護学教育学会			○會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金さ		子、金さ			
1	程の特徴-視線	┪−視線分析を用いた看護師との比			学術集会(Web)			では、			2022. 8		
	較-							、2、不口明不					
2		者のセルフケア支援の			第27回日本糖尿病教育・看			○山岸直子			2022. 9		
_	熟練看護師の	アセスメント(第1報	)	単独	護学会学術集会								
	家族参加型アドバンス・ケア・プランニン グ研修プログラムの評価(第1報)			第5回日本エンドオブライフ ケア学会学術集会(東京)			○山岸 直子, 山口 乃生子, 會田 みゆき, 島田 千穂, 畔上 光代, 河村 ちひろ, 星野 純子, 浅川 泰宏, 佐瀬 恵理子						
3			共同							2022. 10			
	Assessment Items and Indicators to				26th E	ast As	ia Forum of						
4	Support the S	elf-Care of Older Pat	単独	Nursing Scholars			○ <u>Naoko Yamagishi</u>			2023.3			
	with Diabetes				(Toky	(Tokyo)							
( 4	1) その他												
		名称		単・共		発表	易所等		発表者 (発表者は○印)		発表等年月		
	2019~2022年埼玉県立大学研究開発セン												
4	ター 人生の	最終段階に向けた医療	・ケア	共著	埼玉県立大学研究開発セン			山口乃生子、會田みゆき、浅川泰宏、畔上					
1	に関する住民の	する住民の意思表明プロセスを推進す 修プログラムの開発(報告書)			ター			光代、河村ちひろ、 <u>山岸直子</u> 、佐瀬恵理 子、島田千穂、星野純子			2023.3		
	る研修プログ												
2	競争的資金等	の研究									<u> </u>		
						研究名		研习		石	 T究期間		
				高齢糖			レフケア支援	#/17	21 425 B 617077 J B 67 77	н	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究)			のためのアセスメントツールの			トツールの開	研究代表者		2019.4~2023.3			
				発							201311 202010		
	大切以为 D + 为你有因人对为其中			地域資源を活用した住民による家									
2	文部科学省·日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			族参加型アドバンス・ケア・プラ				研究分担者 20		2020.4	0.4~2023.3		
				ンニング研修の効果									
	文部科学省·日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			バーチャルリアリティ教材を活用				研究分担者 2020.4					
3										1~2023.3			
				開発									
3.	教育業績												
(:	l )講義												
	講	義の名称	科目責任者	Ξ	マ数		概要	(教育	内容・方法等において工夫	した点)			
		(慢性看護)	0	14		2年	生を対象に、	既論講義	- 養、看護過程演習のガイダ	ンスや解詞	説・グループ		
1	成人看護学V						一ク、慢性腎臓病患者の看護・退院支援の講義を行った。授業前後			授業前後小			
_	Carrier						プワークなどを組み合わせ主体的な学習を促した。						
$\dashv$								対象に、身体診察と病歴聴取における実践の振り返り、					
2	フィジカルアセスメント			17									
					対面および遠隔での臨床推論シミュレーション演習を実施した。								

(	2)演習										
_	2 / 演音 演習の名称	科目責任者	コマ数	概更 <i>( </i>	・方法笑におし	\ア丁丰   た占 <sup>\</sup>	1				
	(	演習の名称 料目責任者 コマ数			概要(教育内容・方法等において工夫した点)						
1	成人看護学 V (慢性看護)	0	4	2年生を対象に、臨床現場に近い状況設定での慢性病者への看護技術、心不全患者の観察シミュレーション演習を運営し指導した。							
2	臨床実践看護		7	4年生を対象に、輸液管理、陰部洗浄・オムツ交換の技術演習、突発事: への対応のシミュレーション演習を担当した。							
(	<b>l</b> 3)実習	<u> </u>			<u> </u>						
		1.51.66									
	実習の名称	科目責任者	学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)							
1	成人看護学実習丨		2022.5~2022.6	学内実習を担当し、臨床現場に近い状況設定での術前のコミュニケー ション演習、術直後の観察演習を指導した。							
2	成人看護学実習Ⅱ		2022.5~2022.6	臨地実習を担当し、1週間と短期間の受持ち実習のため焦点を絞り、病態 や治療、生活をふまえた対象理解、看護実践につなげるよう支援した。							
3	総合実習		2022.7	実習前より各自の学習課題を明確にし、学習課題に合わせた患者 できるよう調整や課題を意識した実践が行えるよう支援した。							
4	IPW実習		2022.10	4年生を対象にオンラインでの実習を行った。チーム形成の振り返りを 寧に行い、互いの役割の理解・尊重、専門性の発揮を促した。							
(	1 4 ) 論文指導	<u>.                                    </u>	L								
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数							
1	卒業論文		2022.4~2022.12	主指導	4名	副指導	2				
(	5) その他										
	名称		期間	概要(教育内容	・方法等におい	いて工夫した点)	)				
1	該当なし										
4.	社会貢献活動										
(	(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師										
	講演会、研修会、公開講座等の	名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催							
1	看護研究指導		東川口病院	病棟ごとに取り組む看護研究		2022.4~2023.3					
2	家族参加型アドバス・ケア・プラン	ニング		さいごまで自分らしく生きる	Ŋ	2022.8,9					
2	研修(第1回・第2回) 高校出張講座		北本市	- 気づく 備える 話し合う 看護学を志す高校生のための		2022.11					
_	【□仪山城뼈座 2)国、自治体、学術団体等における	2. 禾吕华	l	有該子で心り向权主のための	<b>有</b> 设于八门		2022.11				
	国、自治体、学術団体			委員等の	夕称		 任期				
1	埼玉県看護協会	件号 ツイ	<b>31</b> 75	学会委員長(学会運営、査読)			1.6~2023.3				
_	日本看護学教育学			日本看護学教育学会誌 専任査読者			1.4~2023.3				
	日本看護協会			日本看護学会誌査読委員		2022.9~2023.3					
_	日本看護協会		第53回日本看護学会学術集会	- 小稳强老季		2022.4~2023.3					
	<u> ロイグ目段 0000 ム</u> 3)ジャーナリズムでの発言			为50日日午1日晚于五子而来五	. 沙斯因与女.	202.	2.4 2023.3				
(	メディア等の名称						年月				
1	該当なし			r对台							
_	<sup>吹   な し</sup> 4 )その他										
	項目相手方等			T	期間						
1	該当なし		内容 期間 期間								
	学内運営										
<u> </u>	D. 字內建宮 項目 内容										
1	7 ***	奨励研					期間 0.4~2023.3				
-	全学的委員会及びセンター業務等 研究推進委員会 委員						2021.4~2023.3				
	大学広報活動		゜ンキャンパス(教								
_	学生支援		2021.9~2023.3								
	・ 学生支援 学年担任として学業や進路等の相談・支援 2021.9~2023.3 . 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)										
	受賞名					 主催	受賞年月				
1	該当なし										
7.	特許の取得										
	特許名				特	許番号	登録年月				
1	該当なし										
	·										

8. 特記事項

1 該当なし